

しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

<工事現場での冬季対策について>

再処理工場やMOX燃料工場の工事現場では、冬季でも安全で働きやすい作業環境を整え、天候に左右されることなく計画的に工事を進められるよう様々な対策を講じています。

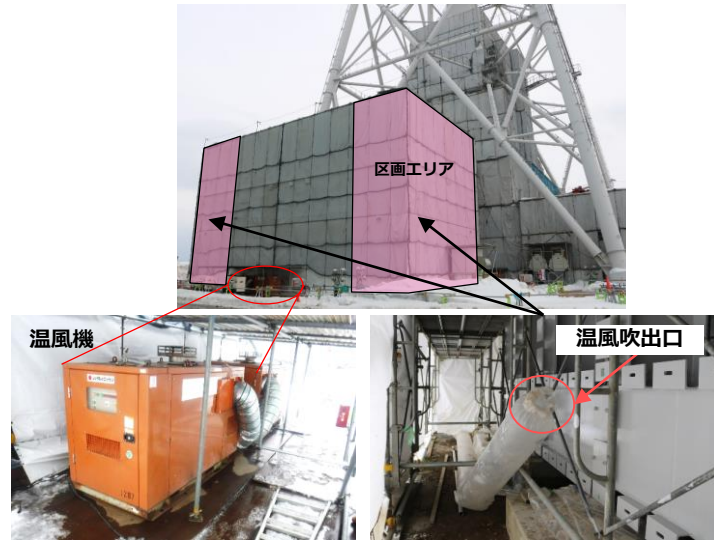
【再処理工場】

冷却塔の工事現場では、飛来物防護ネットを設置するため、人工岩盤の打設や基礎の工事を行っています。屋根（縦16m×横30m）を設置することで、降雪や気温低下の影響を受けずにコンクリートの品質を保てるようにしています。

また、主排気筒の工事現場では、設置した防護板に耐火塗装工事を行っています。作業エリアを区画し、塗装に適した環境を確保しています。



非常用電源建屋冷却塔工事現場での屋根設置の様子（2021年1月撮影）



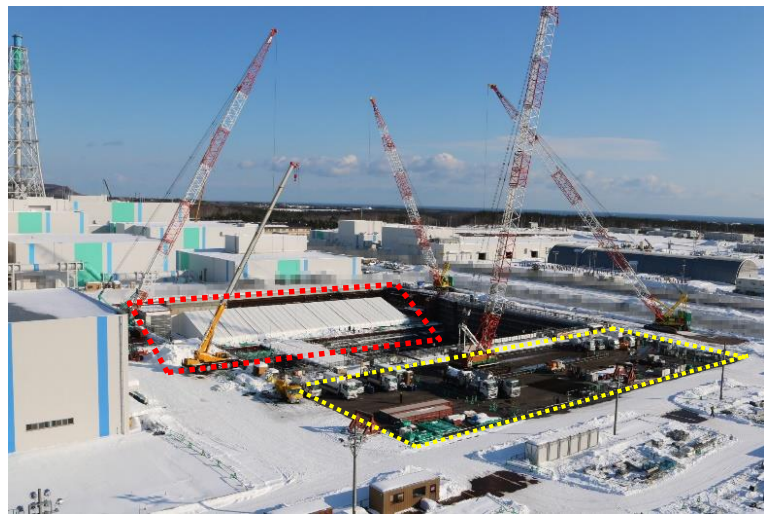
主排気筒工事現場での対策の様子（2021年1月撮影）

【MOX燃料工場】

地下3階エリアでは、鉄筋取替工事などのため、大屋根（縦70m×横30m）や地下で使用する鉄筋、資機材などの積み下ろしエリアにロードヒーティングを設置しました。作業エリアに雪が積もらないことで、作業員の転倒防止や除雪作業時間の短縮を図っています。



地下3階の様子



大屋根(赤枠)やロードヒーティング(黄枠)設置後の現場の様子（2021年1月撮影）

今後も、当社で働く全ての仲間が安心して冬季作業を着実に行えるよう、安全を最優先に工夫して工事を進めてまいります。